

バリアフリー ムーブメント

Vol. 51

「いざ」じゃないとき知る知識！
「いざ」というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう！

〜今回のテーマ〜
より多くの人に使いやすい
く見やすい表示や地図

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使えなかったものを使いやすくするためのモノ等、これらからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。
今回は、「使う人のことを考えて作られた表示や地図」を紹介する。
(森川 美和)

近年、バリアフリー化が進む中、駅の構内や公共施設、アミューズメントパークなどで、点字付きの表示や案内板、大きく見やすい文字(フオン)や色等を使った冊子や案内図などを見かけることが多くなってきてきた。

「入る前に知りたいトイレの配置」をフル活用！ 「トイレ用案内図」をフル活用！

視覚から得る情報が多い現代社会において、目の不自由な人達が日々感じる不便さは計り知れないものがある。その中の一つに「トイレ」に対する不便さがある。

たとえば知らない場所ですぐにトイレに行きたくなった時、人に頼んで入り口まで案内してもらったり、自力でトイレまで辿り着けたりしたとしても、どちらが女性トイレで男性トイレの入り口なのか、配置はどうなっているのか、和式なのか洋式なのか、が分からず、やむおえず、手で配置を確認したり、足で便座の位置を探ったりしなければならぬこともある。

そんな時に活用したいのが「トイレ用案内図」(写真1)である。

「トイレ用の案内図」を作成したのは、日本で最初に点字の案内板、案内案内図)触って知ることができるとして作られたサンエ芸(京都府久世郡)



(写真1)

■「トイレ用案内図」
寸法： 基盤(アルミフレーム)：300×300×2?
： 画面(アルミ板)：285×285×0.6?
印刷：SRフルカラー印刷
加工：プレス一体加工
定価：別途相談

■お問い合わせ先
(株)サンエ芸 点字事業部
〒613-0022
京都府久世郡山町市
田新珠城 90
TEL：0774-23-1133
FAX：0774-23-7788
e-mail：tenji@sunkogei.co.jp
URL：http://www.sunkogei.co.jp/main.html

である。
同社は設立から30年以上になるが、一貫して目の不自由な人達にとって分かりやすい誘導システム(触知案内図等)の開発を行ってきた。制作にあたっては常に目の不自由

な人達の意見を聞き、妥協しないモノ作りにも努めてきた。そしてその結果、触知しやすい加工(プレス一体加工)を開発、点字が指先に当たる時の負担を軽減した。さらに点字と併用して表示す

る活字も、弱視の人や一般の人にも見やすいように、コントラストや読みやすいフォントを使用している。
「トイレ用の案内図」以外にも、場所や環境に応じて点字の設置方法が選べるよう

に、「手すり用点字標示板」や「室内点字標示板」などを用意している。
初代社長故杉山悦雄さんから、バリアフリー活動を受け継いでいる現社長杉山欣司さんは、「視覚障害者が触知図

を触るのに個人差があり、みんなにわかり易い触知図を作る事が重要です。点字の読み易さにこだわり、レイアウトや色使い・文字の大きさ等、日々勉強です。」と話した。

見やすく使いやすい「バリアフリーマップ」。 印刷、表示にも工夫がたくさん！

最近各地域で、町の様子を図記号や読みやすい文字などを使って作成した「バリアフリーマップ」を目にする人が多くなってきた。
バリアフリーマップは、冊子だけでなくインターネットでも公開されているものもある。自分の環境にあった方法で情報を得ることができると嬉しい。

中でも、江戸川区のバリアフリーマップ(写真2)には、障害のある人達への配慮が満載だ。本マップを制作したのは、ユニバーサルデザイン印刷を専門とする(株)ブライト(東京・千代田区)。同社が2004年に江戸川区の委託を受けて作成したものだ。(当時、小川印刷UD事業部)

バリアフリーマップの作成にあたっては、江戸川区に住む高齢者や障害のある人達、区の職員や同社の社員が一緒に、情報収集グループを作り、皆で町を散策しながら生の声を集めた。
調査の結果、「駅構内や駅の周辺の情報が知りたい」、「トイレの場所が気になる」、「近所のスーパーやコンビニを教えてください」という声のほかに、「近所のホストの場所が知りたい」という、利用者ならではの意見も聞かれた。(掲載店は、公署によるもの)

「色」の識別がうまく出来ない人もいるので、分かりやすい色にする。「絵記号」はひとめで分かるものにする。ことに気を配って作成を行った。
さらに全ページに「二次元コード」(読み取りコード)をつけ、音声でページの情報を読み上げてくれる機能もつけた。
同社取締役統括ディレクターの渡辺慶子さんは、「実際にマップを使う方々と一緒に楽しく制作しました。また、調査を通じてバリアが明確になり、お店の人達も積極的に改善してくれました。このバリアフリーマップは、障害や年齢に関係なく、一冊で一緒に読める(開ける)よう、工夫しました」と話した。



(写真2)「江戸川区バリアフリーマップ」

■「江戸川区バリアフリーマップ」に関する問合せ先
江戸川区 都市開発部 都市計画課
〒132-8501 江戸川区中央1-4-1
電話番号：03-5662-6368 (ダイヤルイン)
E-mail：machi-webmaster@city.edogawa.tokyo.jp

■その他のバリアフリーマップ制作等のお問い合わせ先
(株)ブライト 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1 ステージ駿河台4階
TEL：03-5259-8833 FAX：03-5259-8831
e-mail：info@bright3.jp/URL：http://www.bright3.jp